

予算決算

28年度補正予算

問 職員研修の特別旅費の減額理由は。

答 当初、職員の自治大入学に要する予算を計上していた。しかし、研修期間が3ヶ月と長期なため入学希望職員がいなかったため、減額するものである。

問 入札不調のため繰越明許となった工事の設計金額は誰が積算しているのか。また、適正であるのか。

答 土木工事は数量計算等を業者に委託し、職員が積算システムを使って積算している。しかし、複雑な建築工事は、建築事務所で積算している。これらの設計金額は適正であると認識している。

問 学校施設の修繕等の執行状況は。

答 学校施設の修繕は、計画どおり完了している。年度末までに急な修繕が必要になった場合を考慮して、減額補正はしていない。

問 高齢者施設等の防犯対策強化支援事業補助金の内容と支援は。

答 防犯カメラを設置する予定の高齢者施設に対する支援である。一事業者から要望があり、総事業費のうち、国が認めた補助基準の1/2が支援となる。

問 いきがいデイサービスの利用回数が減少した原因は。

答 介護保険適用外者へのデイサービスを行ってきた。しかし、近年、町が実施する介護予防事業の拡大により、利用者が移ったと推測される。

☆「繰越明許」とは、年度内に支出が完了しない事業を議会の議決を得て予算を翌年度に繰越したものである。

問 今後、いきがいデイサービス等の在宅福祉事業は、多種多様な総合事業に移行していく考えである。

答 今後、いきがいデイサービス等の在宅福祉事業は、多種多様な総合事業に移行していく考えである。



防犯カメラ 設置予定



デイサービスで、伊予漫才

平成28年度一般会計補正予算概要

■ 予算総額

(単位：円)

区分	補正前	補正額	補正後	増減率
本年度	106億2389万	△1670万	106億 719万	△0.2%
前年度	98億5450万	7957万	99億3407万	0.8%
前年度対比	107.8%		106.8%	

■ 松前町一般会計補正予算(第4号)主要事業

(単位：円)

科目	項目	金額
民生費	自立支援給付事業	3817万
	認定子ども園保育事業	1248万
	乳幼児・児童医療費助成事業	895万
	老人ホーム入所措置事業	376万
	国民健康保険特別会計繰出金事業	439万
	一時預かり事業	126万